

月間三賞受賞者

<努力賞>

田中 國枝さん…声掛けで居室の電気の点灯・消灯ができるようになりました。

井口 浩治さん…自分の気持ちを伝える事ができています。

中江 公三さん…県障害者スポーツ大会で銀メダルを獲得しました。トン袋の付け方、運び方、畑の草取りを頑張っています。

永田 三十六さん…県障害者スポーツ大会で銀メダルを獲得しました。茶瓶、箱並べ、掃除をストックヤードで頑張っています。

高 由香さん…トン袋の紐が上手に巻けるようになりました。

酒井 真希さん…落ち着いて受診ができました。

<親切賞>

森山 麻李亜さん…講堂外に職員が傘を忘れていた事に気付き、女性棟傘立てに戻してくれました。

平山 和子さん…落ち着かない利用者を気にかけて優しい言葉をかけてくれました。

岩越 タツヨさん…泣いている利用者を優しくさすってくれました。

高 由香さん…積極的に友達に朝の挨拶をしてくれています。

朝谷 テツミさん…育てたピーマンを皆に食べさせてくれました。

生野 由子さん…就労で友達を気遣い、毎日、一緒に来棟、帰りもフレンドと一緒に帰宅してくれています。

岩越 隆道さん…食堂で利用者の皆さんに声を掛け、席に誘導してくれています。

<奉仕賞>

坂元 秀さん…トイレトペーパーと手拭きペーパーの補充を手伝ってくれています。

～愛の浜園の取り組み～ 地域買い物支援



先月、下方地区支え合い協議体の話し合いがありました。下方地区支え合い協議体とは、下方地区で困り事がある方々の相談を受け、地域と協力しながら解決に導いていく取り組みをしている団体グループです。奄美市高齢福祉課、事務局は虹の丘在宅介護支援センター、下方地区生活支援コーディネーターに榮野さん(愛の浜園 元園長)もメンバーの一員として活動しています。地域のコミュニティを大切にしながら話し合いを重ね、その地域の状況に合うように形作りをしています。今回は、根瀬部地区の高齢者の方々が買い物に困っているという課題についての相談でした。公共バスの本数が少なくなった事や地域の高齢化、地域住民の減少等々…。地域だけでは、どうしようもない状況に協議体を中心となり、愛の浜園にも協力依頼を求めてきました。私たちが愛の浜園は、地域に少しでも貢献できる活動があれば協力したいという気持ちで、R5年10月から3ヵ月間、試行的に買い物支援を月2回実施し、R6年1月より本格的に始動する事になりました。ご利用される根瀬部地区の方々から「ありがたい。助かる。」その言葉を言って頂ける事に喜びを感じています。これからも地元地域で生活する方々に愛の浜園としてできる協力を続けていきたいと考えています。(記事:辻原)

●●知名瀬町内敬老会●●

6月23日(日)、5年ぶりに知名瀬町内会の敬老会に参加してきました。生活介護利用者とフレンドより敬老者6名の方が、知名瀬町内会の敬老者と一緒に記念撮影に参加しました。余興の時間に合わせ、他7名の利用者も到着して、知根小学校の児童と緊張の中、「稲すり節」や「ワイド節」を披露しました。以前も学校行事の中で子ども達と演奏しているので、楽しんでスムーズに発表ができたと思います。その後、「愛は勝つ」のトーンチャイム演奏では、地域の皆さんも巻き込んで、会場全体で歌や楽器で盛り上がる事ができました。地域行事の楽しさを感じながら、皆さんに日頃の活動を発表する事もでき、良い機会となりました。(記事:榮)



子どもたちとのコラボ



75歳以上のご招待のみなさん



就労事業所よりお知らせ

七夕飾りを販売します。旧七夕に向け作成しております。ご予約、注文承りますので、お気軽に、就労事業所までご連絡下さい。

一袋：800円

TEL：54-8011

(担当) 岩切・上野・市田



第2回 もりぶーさんお帰りのさい!! ドラムサークル

6月25日(火)、もりぶーさん(森田 孝一さん)をお招きしてドラムサークルという音楽活動を行いました。今回で2回目です。「お帰りのさい」の横断幕に喜んでいたもりぶーさん。大小様々な打楽器を持ってきて下さいました。大きなジャンベを叩きながら「好きなように叩きましょう。」と利用者の皆さんに優しく呼びかけます。控えめに楽器を鳴らす人、全身でリズムを刻む人、それぞれの表現でそれぞれの音が広がっていきます。クールダウンの時間、もりぶーさんは島の夜の山を表現します。静かな山に色んな生き物の音がします。利用者の皆さんは、耳を澄ませて聞き入ります。他者の音に聞き入るという事は、「音楽の日」で継続して取り組んできた事なので、とても嬉しく、ひとりで感動してしまいました。すると、もりぶーさん、「せーの！」の掛け声。「せーの！」(ドン)「せーの！」(ドンドン)「せーの！」(ドドドーン)と掛け声でリズムを変えていきます。さすが愛の浜園の皆さんです。掛け声に合わせて上手にリズムを打ち分けます。そして、みんなの音がひとつになり、大きな音になりました。打楽器だけの演奏、みんなの音がお腹に響きました。もりぶーさんの世界に引き込まれ、素晴らしい音を奏でた皆さんはとても素敵な笑顔をしていました。このような機会を頂き、皆さんの笑顔が溢れた事に感謝しています。ありがとうございました。(記事:松原(充))

